

第37回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月30日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第37回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・私と市村政務官は国会対応と中間報告のため一時帰京する。
- ・宮城県のさまざまな地域を拝見させてもらった。最初に南三陸町に行った時は、あまりにすごい自然の猛威に、啞然として立ちつくして、どうしたらいいんだろうかと、私自身自問自答するようなことがあった。
- ・さまざまな地域を廻っていく中で、徐々に復興に向けての意欲、いぶきを感じ始めつつある。
- ・現時点で抱えている案件の中で、心残りがあるとしたら、燃料の問題である。
- ・燃料の問題はまだ油断することが出来ない。燃料確保に向けて、動いていきたいと考えている。
- ・海江田大臣から急ピッチで対策は進んでいてさまざまな動きはしているが、まだ結果は出ていないと指摘を受けている。後ほど経済産業省の担当者から報告をさせてもらうが、現時点で言えば、ガソリンスタンドの稼働率が僅かずつではあるが上がっており、出荷量もようやく前年比60%以上まで改善しつつある。もう一息であ

ると考えている。ここで緩めてはならないと思う。皆さんと力を合わせて一緒に頑張りたい。必ず戻ってくる。

○市村国土交通省大臣政務官

・国会対応で一時帰京するが、4月1日に戻ってくる予定。東北のみでなく日本の復興と思っている。

○小野寺危機管理監

- ・死者6,576名、行方不明者6,933名である。
- ・被害額は、農林水産部、土木部関係被害が大幅に増えている。1兆3,320億円強となっている。
- ・被害者情報ダイヤルは、相談件数トータルで5,872件、判明者1,176人、確認率約20%である。

○仙台管区气象台

- ・気圧の谷の影響で昼過ぎから夕方東部を中心に一時雨、雨量は多いところでも5ミリ程度、明日は朝一時雨か雪。今日の最高気温は10度前後、明日の朝の最低気温は0度前後である。
- ・昨夜19時54分福島県沖を震源とするM6の地震があり最大震度は4、余震に引き続き注意が必要である。

○今野総務部長

- ・トヨタ自動車(株)から車の無償貸与が50台あった。

○佐藤企画部長

- ・東北本線の岩沼から福島，岩切から松島で，運転再開目標が決定した。
- ・都道府県からの支援物資は，石巻を中心に搬送した。

○小泉環境生活部長

- ・福島原発関係について，モニタリング調査において新たな測定地点を県庁の屋上に設置した。

○岡部保健福祉部長

- ・避難所等において要介護者が増えている。ケアマネージャー協会で避難所アセスメントに巡回しており，県内外の受入調整167名から284名になった。県外への移転搬送者が増加している。
- ・ボランティア，1,390人活動中。徐々に増えている。
- ・生活福祉資金等，亘理町，村田町，川崎町，利府町，富谷町など各市町村社協の方でも貸し付けが始まっている。仙台市3箇所3日間1,614件2億2千2百万ほど貸し付けているので，今後沿岸部で貸し付けが始まると，大幅な増額になると思う。

○河端経済商工観光部長

- ・自衛隊の御協力で灯油75缶，軽油60缶，女川の総合公園などの県内各地に配送している。

○千葉農林水産部長

- ・20t未満の漁船，12,005隻について1,022億円の被害額を計上した。

- ・ 20 t 以上の漁船は調査中だが、50～60 億円被害額追加の見込み。
- ・ 水産物被害額 332 億円を追加した。

○橋本土木部長

- ・ 本日 14 時からすべての高速道路、自動車専用道路が全面車両通行可能になる。
- ・ 仙台塩竈港、石巻港、物流機能復興会議をそれぞれ開催する。
- ・ 内容は、港湾の復旧状況、復旧方針、国、県等への要望、復興決議等である。
- ・ 仙台空港で救援機のみ 3,000 m の滑走路の使用が可能である。
- ・ 仙台空港アクセス鉄道の名取駅～美田園駅で代行バスを運行する。
- ・ 下水道について、国土交通省の排水ポンプ 6 t 車 3 台を多賀城市に設置し排水を開始した。

○竹内警察本部長

- ・ 遺体安置状況は、総数 6,843 体（99 体増）、うち引き渡しは 5,253 体、引渡率 78% である。
- ・ 現収容数 2,419 体のうち身元不明者 1,590 体であり、うち 629 体は身元が判明したがご遺族が引き取れない方である。

○消防庁

- ・ 緊急消防援助隊 915 人で活動中である。

○海上保安庁

- ・ 船舶 54 隻、航空機 7 機で捜索活動を実施した。潜水士による行方不明者の捜索は

石巻市, 東松島市で実施予定。漂流船のうち使用できるものは可能な限り運んでいる。
昨日まで25隻運んでいる。

○東北電力（株）

- ・ 停電戸数112,882戸, 昨日に比べ2,856戸減少した。

○東北経済産業局

- ・ ガソリンスタンドの稼働状況は71%で, 石油製品出荷量は昨年比64%である。
- ・ 昨日の夕方海江田大臣から関係者に対し, タンクローリーを関東から持ってくるこ
と, 塩竈港の出荷時間を延長すること, 仮設ガソリンスタンドへ石油業界から人的支
援等をするこ
と, ガソリンスタンドで修復, 必要な物について早期に供給すること,
元売り売り会社からも支援をして欲しいこと, 情報提供をしっかりとすること, 以上を
直接要請した。
- ・ 現地のガソリンスタンドの営業時間が短いのではないかとこのことで, 実態調査も
含めて延長するよう経済産業省の現地職員が直接お願いに廻ってチェックしている。

○東北地方整備局

- ・ 現地での震災初期対応等について資料に添って説明。

○小林教育長

- ・ 被害額に変更はない。
- ・ 新学期の学校再開に向けて, 生徒の足の確保についてJRと詰めの協議を行って
いる。

- ・被災者向けの教育相談ダイヤルを4月1日から開設する。

○千葉病院局長

- ・変更なし。

○伊藤企業局長

- ・工業用水道関係、仙台北部工業団地については供給できる状況にある。
- ・仙台港周辺、急いで取り組んでいく。

○村井災害対策本部長

・松島町，東松島市，塩釜市，七ヶ浜町は文化財の保護区域になっており，建物を立てる，改築に厳しい制限がある。確認したところ，文化庁の吉田次長が県教育庁に崩落した土砂や撤去物の仮置きなどに関しては従来通り対応してもよいとの了解を得た。今後規制を緩和していただくということが大きな問題になってくると思う。今日明日という問題ではないが，是非国には柔軟に対応していただきたいと思う。

次回は3月31日10時00分に開催する。